

人間文化学部 生活デザイン学科

Department of LIVING DESIGN

広い視野で学べるから、出てくる答えの厚みが違う。
ハードだけど毎日が充実しています。

幼い頃からモノづくりに興味がありこの学科を選びました。道具・住居・服飾という広い分野で学べるため、デザインに対する視野を広げることができます。それぞれの分野が生活の中でどう関わっているのか、関係性をすることで演習授業もより充実したものになります。実際に、道具デザイン演習Ⅱの授業で課題となったランドセル製作では、布の特性の調査、寸法の設定、形のデザイン、というように様々な分野の知識が必要になりました。毎週製作課題をこなさないといけないのでハードですが、学科のみんなと乗り越えることで仲良くなれますし、みんなの完成品を見るときもっと頑張ろうという意欲が湧いてきます。忙しい毎日ながら、部活動と両立している生徒も少なくありません。大学生活を存分に楽しんでください。

人間文化学部 生活デザイン学科 3年生
福川 結子 さん/滋賀県立石山高等学校出身



人間に最も身近な生活環境としての 住居・道具・服飾のデザイン理論と実践を学びます。

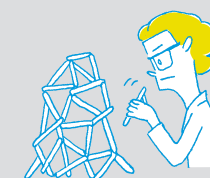
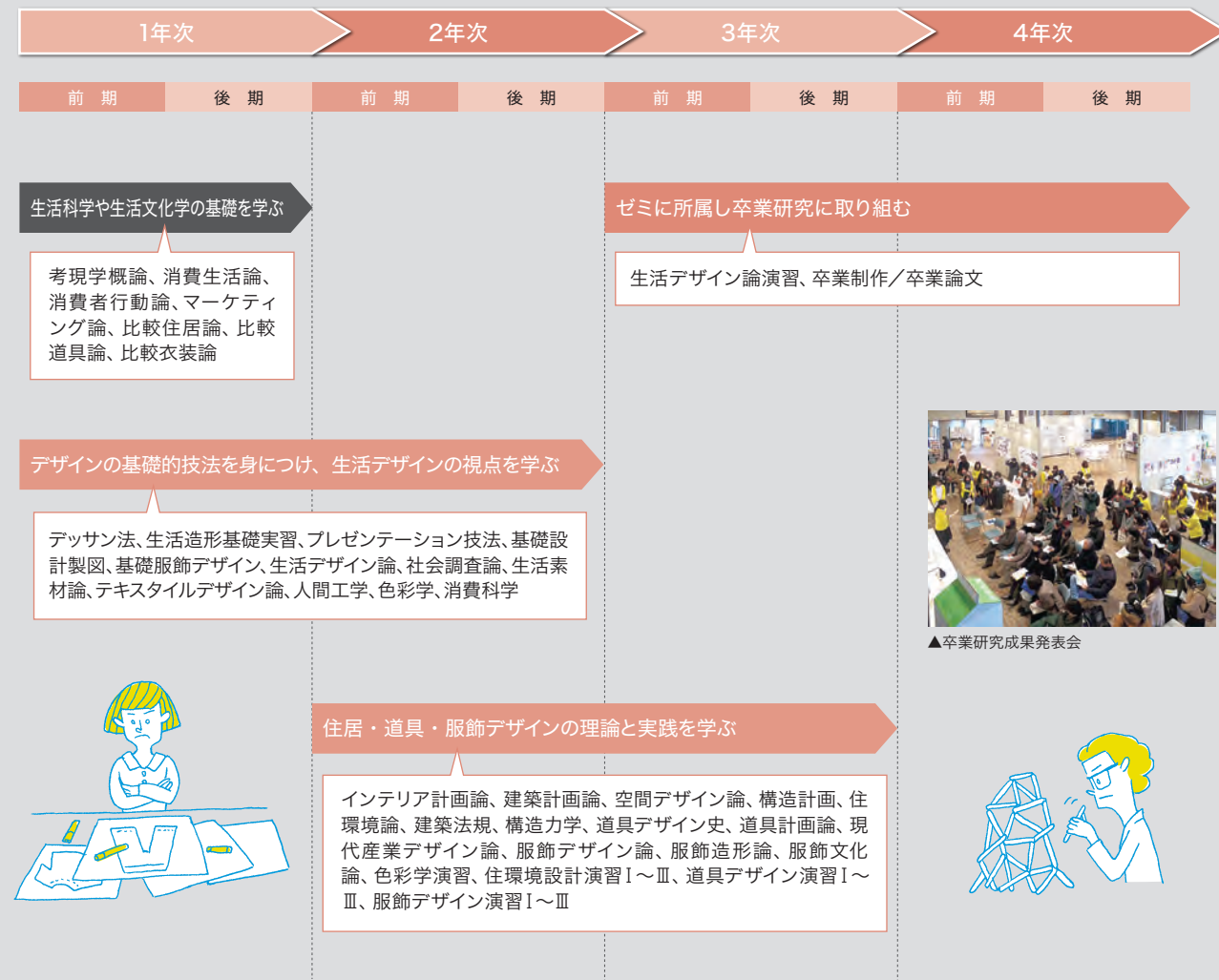
▶ アドミッションポリシー

生活デザイン学科では、人間に最も身近な生活環境としての住居・道具・服飾のデザインの理論と実践を学びます。身近な生活環境を観察・分析して問題を発見し、その解決策を考え、造形的・論理的に表現できる能力を身に付け社会で活躍したいと考える人を求めています。そのために必要な基礎学力(国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語)、表現力、そして柔軟な思考と積極的行動力を持った人の入学を期待します。

▶ 学びのポイント

変わり行く生活をよく見つけ、そこに望ましい生活環境を形づくってゆく行為が「生活デザイン」です。本学科では、生活の中での人間とモノとの関係に注目して、その現状を観察・記録する考現学的調査を推進し、それを基礎に、住居、道具、服飾のデザインを学び、新しい生活の創造をめざします。実際の勉強においては、生活に関わるさまざまなデザイン分野の専任教員から指導を受けながら学びます。さらに学外から招聘する専門家の指導を受ける機会もあります。講義科目に加え、各分野ごとの演習科目によって、自ら問題を発見し、解決策を考え、表現する力を養っていきます。卒業後は、生活デザイン分野の広がりを活かして、住宅・建設関係、印刷・広告関係、服飾関係、製造業、流通・小売業、サービス業、デザイナー、公務員、教員など、多様な進路があります。また資格として、教職、学芸員、二級建築士・木造建築士受験資格、インテリアプランナー受験資格などが取得できるほか、繊維製品品質管理士の資格を得るための道も開かれています。また、色彩能力検定、カラーコーディネーター検定などの受験も推奨しています。

▶ 学びのステップ (4年間の学習フロー)



<p>Point 1 幅広く学べます</p> <p>「地域」と「生活」の文化を研究する人間文化学部の中で、デザインを幅広く学べます。幅広い分野構成から自分の最も興味のある分野を見つけだし、専門的に学んでいくことができます。</p>	<p>Point 2 少人数で学べます</p> <p>個別的・個人的に指導を受けやすい少人数の学科です。各分野ごとの実技科目は、学年が進むと10数名のクラスになり、これをときには複数の教員で指導します。3年生後期から卒業までは教員ひとりにつき最大6名程度のゼミナールに配属されます。</p>	<p>Point 3 フィールドワーク重視</p> <p>学外の生活・生産のフィールド(現場)とのかかわりを重視し、さまざまな機会において、実地調査、学外見学、調査旅行などをおこない、企業や自治体のデザイン関連プロジェクトに積極的に参加します。</p>
--	--	---



生活デザイン学科 ってこんなところ



生活デザイン学科では、1年次は住居、道具、服飾3分野の基礎的なデザインについての授業を必修としており、その知識を活かして自分の興味のある分野の専門性を高めていきます。このように各分野のデザインについて幅広い視野を持つことができることが本学科の特徴です。



基礎造形演習
デザインや造形表現の基礎を学んでいます。

人間文化学部
生活デザイン学科
伊南 比呂志 教授

〈専門科目の例〉 講義

考現学概論

考古学者が発掘した遺構・遺物から過去の生活相を復元し想定するように、現在の生活を観測、観察、記録して、その生活相の変化を明らかにし、新しい生活をデザインするための立脚点とします。

道具計画論

現代日本の生活実態の諸相の観察・分析から、今後どのような生活道具が必要とされるのか、どのようなデザインがなされるべきかを考えます。

住環境設計演習

住空間を中心に、その周辺空間も含めて調査・考察し、基礎的なインテリア空間から、公共・地域性をもつ建築・都市空間までを、様々な設計・表現手法を習得し、各自設計制作を行います。

服飾デザイン論

服飾に表される流行の特性、構成理論、体形との関係、素材や色彩の効果を学び、服飾デザインの役割を論じます。そして服飾デザインにおける機能性や審美性について考えます。

生活造形基礎演習

デザインの基礎となる思考法・表現法と構成力等を演習を通じて学ぶことを目的としています。多くの素材をあらゆる視点で観察し、造形の発想とともに意識の拡大をテーマに取り上げながら立体造形に関する基本的な技法を習得します。

デジタルデザイン演習

CADや画像処理、ドローイング、編集ソフトなどを用いて、DTPや3次元モデリングデザインやプレゼンテーションの基礎から応用までを学びます。

▶ ようこそ研究室へ

道具デザイン領域

OMOYA SHINSUKE

面矢 慎介 教授
道具学・デザイン史
考現学・生活学



INNAMI HIROSHI

伊南 比呂志 教授
地域デザイン・製品計画
工場産業論



MINAMI MASAHIRO

南 政宏 助教
プロダクトデザイン・パッケージデザイン
ブランディングデザイン



服飾デザイン領域

MORISHITA AOI

森下 あおい 教授
服飾デザイン・被服構成学
被服人間工学



YOKOTA NAOMI

横田 尚美 准教授
服飾文化史・西洋服装史
ファッション文化論



住居デザイン領域

MIYAMOTO MASAKO

宮本 雅子 教授
照明計画・色彩計画
住居学



FUJIKI YOSUKE

藤木 庸介 准教授
建築計画・都市計画
文化遺産観光



SASAKI KUNIHIRO

佐々木 一泰 講師
建築デザイン
インテリアデザイン



マーケティング領域

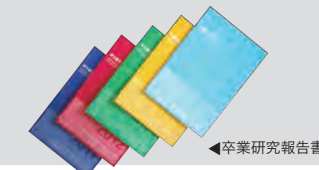
YAMADA AYUMI

山田 歩 助教
マーケティング・マーケティングリサーチ
消費者行動



主な卒業研究のテーマ(2015年度)

- 道具系
 - 自分の居場所を作る家具の制作
 - 国産材を用いたディスクオーガナイザーの提案
 - 現代生活における箱籠のリデザイン
 - びわ湖一周サイクリングのVI整備計画
 - 五感を利用した子どもの遊具の制作
- 住居系
 - 人の動きを誘発する都市公園の提案
 - 公共に開かれた結婚式の提案
 - 地域振興となるまちなか映画施設の提案
 - 学生と地域住民のためのコミュニティ施設の提案
 - 地域の魅力を発信する鮮魚市場の提案
- 服飾系
 - 体型に適合したオフィスカジュアルの提案
 - 若者向け着物メイクの提案
 - チェコの民族衣装の研究
 - ファーストブラの研究
 - 無駄の無いパターンと服づくりの提案
- マーケティング系
 - 季節湯を題材にした溶ける手紙製品
 - 捨てられる野菜の新しい活用方法の提案



▼卒業研究報告書

1日のスケジュール

- 8:30 通学
- 9:00 1限: デジタルデザイン演習
- 10:40 2限: 生活デザイン論演習
- 12:10 昼休み
- 13:10 3限: 道具デザイン演習
- 16:30 5限: 一般構造
- 18:00 課外活動

1限



コンピュータを使用したデザインリテラシーについて学びます。

3限



日常生活で使用される道具をテーマに新しいデザイン提案を行います。

5限



主に住宅設計の構造技術や計画を学びます。

課外



さまざまな部活動や地域活動に参加します。

CAMPUS LIFE ONE DAY 県大生の一日



道具デザイン(特別講義)
プロダクトデザイナー・秋田道夫氏を招いて特別講義を開催しました。



LD賞(リビングデザイン賞)
毎年優秀な卒業研究に対して賞を授与しています。



特別実習
デザイン現場で必要な技術を修得するための実習を行っています。

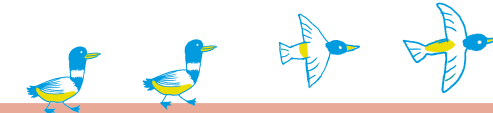


住環境設計演習
実際の空間生成体験から住空間の設計やデザイン手法をより深く学んでいます。

服飾デザイン演習
デザイン画の表現手法やボディ着装、縫製技術などを学んでいます。



道具デザイン演習
日常で使われる道具に着目して、それぞれのデザイン開発手法を学んでいます。



■進路状況(2013~2015年度卒業生)

◆就職先

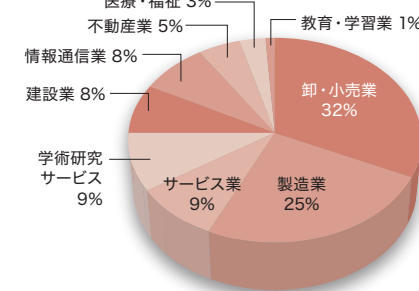
- 綾羽(株)
- アルスホーム(株)
- (株)ウエーブ
- (株)エイ・ネット
- (株)SKB
- (株)エルアイシー
- (株)オリバー
- (株)オンリー
- (株)葉匠兵衛
- (株)カッシーナ・イクスシー
- キシステム(株)
- 株木の家専門店谷口工務店
- 株京都新聞COM
- (株)グラフィック
- (株)クロスカンパニー
- (株)ケーエスケー
- (株)桂新堂
- (生協)コープしが
- (株)サンク・アール
- (株)ジアス
- (株)シブス
- シャープ(株)
- (株)ジュン
- 昭和住宅(株)
- (株)大丸松坂屋百貨店
- 大和ハウスリフォーム(株)
- 瀬田電機工業(株)
- (株)たちばな
- (株)中広
- (株)デザインアーク

◆進学先

- (株)ニトリ
- パナホーム(株)
- (株)バル
- 富士凸版印刷(株)
- プラニュー(株)
- ブランシェス(株)
- (株)文教スタチオ
- (株)HEADS
- (株)ポイント
- (株)ユナイテッドアローズ
- (株)レイ・カズン
- (株)ワールドストアパートナーズ
- 大阪市教育委員会

- 滋賀県立大学大学院

2013~2015年度卒業生の業種別就職状況



OB & OG Message

2013年度卒業
勤務先: 株式会社大丸松坂屋百貨店

佐々木 秋乃さん



弊社は、札幌から東京・名古屋・関西に拠点をおく百貨店です。新しい時代にふさわしい、大胆な改革を成し遂げてお客様に愛される百貨店を目指しています。私は紳士雑貨の接客販売を担当しており、お客様への販売はもちろん、商品の発注や、売り場の構成提案なども行っています。バイヤーやマネージャーからの指示をメンバーに伝え、実際の売り場づくりをできる点がやりがいになっています。お客様へ接客する際には、大学で学んだ「モノを観察する視点」を活かす事ができています。また、ストアオペレーションを行う際には、身につけたマーケティングに関する知識を意識するように心がけています。働いてみると、購入する側として外から見ているのはほんの一部であり、思っていた以上に仕事の幅が広いと感じました。最初は販売業務に徹していましたが、売り場を作るための仕事を順番に与えてもらえるようになってきました。成長も感じながらも、日々挑戦をしているように感じます。将来は、お客様に満足していただけるMDを考えられるようになりたいと思います。(2016年1月現在)

※1 すべての資格は、大学が定める所定の科目を履修し、単位を修得する必要があります。 ※2 実務経験0~2年以上必要